

## 窓口支援事例 【愛知県 知財総合支援窓口（名駅窓口）】

## 企業情報

## 有限会社キットカッター 代表取締役 佐藤 隆

所在地	〒496-0905 愛西市北一色町証文214-2		
ホームページ URL	<a href="http://www.kit-cutter.co.jp/">http://www.kit-cutter.co.jp/</a> (販売会社: <a href="http://toyors.co.jp/">http://toyors.co.jp/</a> )		
設立年	平成6年	業種	建設業・製造業
従業員数	10人	資本金	300万円

## 企業概要

本業である建設業は受注待ち体質からの脱却が容易ではなく、当社も競業他社との価格競争下にあった。経営者の車のスリップによるヒヤリ体験から、路面掘削用特殊ビットを発明し、メーカーに試作依頼し、試行錯誤の結果、特殊環状溝等があと施工できる「ケーズルビット」、「ケーズル工法」を確立し、ビット製造メーカーではないが特許取得を行うことになりました。

従来の道路反射鉢には乗り上げ時のタイヤ破損等問題があり、上記工法による掘削面に埋め込む樹脂製道路反射鉢「ケーズルリング」も合わせて開発し、特許取得できたことで、会社定款に製造業を追加するに至りました。

## 自社の強み

「ケーズル工法」のライセンス料を5年間フリーにした後、現在は全国に27社の正規施工店を認定。各県定数を決め通常実施権を担保しています。「ケーズルリング」も公共・民間を問わず、全国の工事現場で採用が拡大しています。同商品は市場性が期待されると判断し、量産化のための新工場用地を確保するほか、中小企業ものづくり補助金を活用した事業化を進めました。都内に新販売会社ロードセーフティー（株）を設立し、海外展開も視野に現在特許権3件、意匠権7件、商標権2件、韓国特許1件にもとづく知財戦略、経営戦略を積極的に展開しています

## 一押し商品

「ケーズルリング」はオール樹脂製で車両等が踏んだ時の衝撃も少なく、夜間360°の反射機能も備えており「グリーンベルト」やカーブ道路センターラインへの設置の実績が全国に多くあります。

また車両等に踏まれることでの本体破損を考慮し、表面全体に特殊樹脂を被膜することで以前の1.8倍の耐久性を実現しました。新たに「ケーズルリングHプラス」の販売を開始しました。



ケーズルビットによる施工現場



ケーズルビット（リングタイプ）



ケーズルリングH

## 知財総合支援窓口活用のポイント

## 窓口活用のきっかけ

受注待ち体質からの脱却を目指し、ヒヤリ体験からスリップ防止用掘削工具を発明しましたが、従来技術の工具との相違点を見いだせず、半ば特許出願を諦めていました。しかし、特許流通アドバイザーの紹介で窓口担当者が同社を訪問し、特殊ビットの組合せによる発明発掘等を支援し、特許、意匠、商標の権利取得を目指して行くことになりました。

## 最初の相談概要

「ケーズルリング」量産化対応で材料供給に業界大手企業と成形条件等技術情報の打合が進行しているなか、経営者には発明の権利保護が十分ではない点を指摘しました。

知財戦略のサポートとして、①光触媒に関する技術情報等の提供と発明発掘、公設試への耐候性試験の紹介、②IPDLによる特許・意匠・商標の先行技術調査支援、③特許出願の発明の特定、特許事務所と連携による明細書作成支援、④特許庁施策・外国出願補助金の活用支援により国内・韓国の特許権等取得のほか、新たなPCT出願、意匠出願も行いました。

## その後の相談概要

経営戦略のサポートとして、支援機関のビジネスプラン発表会への参加を推薦し、発表企業として採択されたことから高速道路会社、金融機関等とのマッチング等を支援しました。

また、農地転用に必要な開発審査会申請に対して「先端技術」説明資料作成等を支援し、認可を得たことにより、新工場建設に向けて大きく前進しました。魅力ある商材といち早く感じて頂いた大手企業と共に都内に新販売会社を設立し、国内外の販路開拓を進めています。

## 窓口を活用して自社が変わったところ

試行錯誤の開発成果は知財総合支援窓口を活用して権利化でき、専門家を活用しての契約締結ではビットメーカーからのライセンス料収入、特許製品「ケーズルリング」などによる売上も寄与し、業界のリーディングカンパニーに飛躍しつつあります。現在、新工場に移転して地域雇用促進、保安用品販売店と契約支援による全国展開、INPITの海外知財プロデューサーの専門家派遣による代理店契約によって海外展開も進行中です。

## これから窓口を活用する企業へのメッセージ

窓口相談員の、適確で丁寧なアドバイスが企業にとって収益性向上に向けた中心的起爆剤となります。「困ったものを解決する→お客様のニーズに答える→ビット商品に繋がる！」と考え、活路を見いだすチャンスともなり得ます。訪問による支援を受けることで救われる中小企業も出てきます。日本経済にも影響を及ぼしてくる支援だと感じています。

## 窓口担当者から一言（氏名：井上 勝）



中小企業の現場では世界に通用するアイディアが埋もれています。知的財産を取得することにより、企業の大小に関係なく交渉でき、相手企業に対しても優位な知財戦略、経営戦略を描け、ビジネスにも結びつけることができます。企業の身近な相談員として、大いに活用して頂きたいと思います。

## 窓口支援事例 【愛知県 知財総合支援窓口（名駅窓口）】

## 企業情報

## 有限会社キットカッター 代表取締役 佐藤 隆

所在地	〒496-0905 愛西市北一色町証文214-2		
ホームページ URL	<a href="http://www.kit-cutter.co.jp/">http://www.kit-cutter.co.jp/</a> (販売会社: <a href="http://toyors.co.jp/">http://toyors.co.jp/</a> )		
設立年	平成6年	業種	建設業・製造業
従業員数	10人	資本金	300万円

## 企業概要

本業である建設業は受注待ち体質からの脱却が容易ではなく、当社も競業他社との価格競争下にあった。経営者の車のスリップによるヒヤリ体験から、路面掘削用特殊ビットを発明し、メーカーに試作依頼し、試行錯誤の結果、特殊環状溝等が施工できる「ケーズルビット」、「ケーズル工法」を確立し、ビット製造メーカーではないが特許取得を行うことになりました。

従来の道路反射鉢には乗り上げ時のタイヤ破損等問題があり、上記工法による掘削面に埋め込む光触媒入「ケーズルリング」も合わせて開発し、特許取得できることで、会社定款に製造業を追加するに至りました。

## 自社の強み

「ケーズル工法」のライセンス料をフリーにしたことにより、「ケーズルリング」も公共・民間を問わず、全国の工事現場で採用が拡大しています。同商品は市場性が期待されると判断し、量産化のための新工場用地を確保するほか、中小企業ものづくり補助金を活用した事業化を進めました。

都内に新販売会社ロードセーフティー（株）を設立し、海外展開も視野に現在特許権3件、意匠権7件、商標権2件、韓国特許1件にもとづく知財・経営戦略を積極的に展開しています。

## 一押し商品

「ケーズルリング」は既設アスファルト・コンクリート路面の特殊二段環状溝に埋め込まれて車とタイヤとの接触摩耗が避けられない商品であることから、光触媒粒子をリング樹脂に練り込み、継続的にセルフクリーニング効果による汚濁防止機能を有しています。また、反射機能も兼ね備えており、道路反射鉢などの保安部品の代替商品として、夜間等での視認性機能を高めています。

材質が樹脂であることから従来の道路反射鉢の乗り上げ時の衝撃等の問題点を解決し、安全性に十分配慮した商品となっています。



ケーズルビットによる施工現場



ケーズルビット  
(ダイヤモンド製特殊ビット)



ケーズルリング  
NETIS登録商品、登録番号CB-140004-A

## 知財総合支援窓口活用のポイント

## 窓口活用のきっかけ

受注待ち体質からの脱却を目指し、ヒヤリ体験からスリップ防止用掘削工具を発明しましたが、従来技術の工具との相違点を見いだせず、半ば特許出願を諦めていました。しかし、特許流通アドバイザーの紹介で窓口担当者が同社を訪問し、特殊ビットの組合せによる発明発掘等を支援し、特許、意匠、商標の権利取得を目指して行くことになりました。

## 最初の相談概要

「ケーズルリング」量産化対応で材料供給に業界大手企業と成形条件等技術情報の打合が進行しているなか、経営者には発明の権利保護が十分ではない点を指摘しました。

知財戦略のサポートとして、①光触媒に関する技術情報等の提供と発明発掘、公設試への耐候性試験の紹介、②IPDLによる特許・意匠・商標の先行技術調査支援、③特許出願の発明の特定、特許事務所と連携による明細書作成支援、④特許庁施策・外国出願補助金の活用支援により国内・韓国の特許権等取得のほか、新たなPCT出願、意匠出願も行いました。

## その後の相談概要

経営戦略のサポートとして、支援機関のビジネスプラン発表会への参加を推薦し、発表企業として採択されたことから高速道路会社、金融機関等とのマッチング等を支援しました。

また、農地転用に必要な開発審査会申請に対して「先端技術」説明資料作成等を支援し、認可を得たことにより、新工場建設に向けて大きく前進しました。魅力ある商材といち早く感じて頂いた大手企業と共に都内に新販売会社を設立し、国内外の販路開拓を進めています。

## 窓口を活用して自社が変わったところ

試行錯誤の開発成果は知財総合支援窓口を活用して権利化でき、専門家を活用しての契約締結ではビットメーカーからのライセンス料収入、特許製品「ケーズルリング」などによる売上も寄与し、業界のリーディングカンパニーに飛躍しつつあります。現在、新工場を設立して地域雇用促進、保安用品販売店と契約支援による全国展開、INPITの海外知財プロデューサーの専門家派遣による代理店契約によって海外展開も進行中です。

## これから窓口を活用する企業へのメッセージ

窓口相談員の、適確で丁寧なアドバイスが企業にとって収益性向上に向けた中心的起爆剤となります。「困ったものを解決する→お客様のニーズに答える→ヒット商品に繋がる！」と考え、活路を見いだすチャンスともなり得ます。訪問による支援を受けることで救われる中小企業も出てきます。日本経済にも影響を及ぼしてくる支援だと感じています。

## 窓口担当者から一言 (氏名: 井上 勝)



中小企業の現場では世界に通用するアイディアが埋もれています。知的財産を取得することにより、企業の大小に関係なく交渉でき、相手企業に対しても優位な知財戦略、経営戦略を描け、ビジネスにも結びつけることができます。企業の身近な相談員として、大いに活用して頂きたいと思います。

## 窓口支援事例 【愛知県 知財総合支援窓口（名駅窓口）】

## 企業情報

## 有限会社キットカッター 代表取締役 佐藤 隆

所在地	〒496-0905 愛西市北一色町誌文214-2		
ホームページ URL	<a href="http://www.kit-cutter.co.jp/">http://www.kit-cutter.co.jp/</a> (販売会社: <a href="http://toyors.co.jp/">http://toyors.co.jp/</a> )		
設立年	平成6年	業種	建設業・製造業
従業員数	7人	資本金	300万円

## 企業概要

本業である建設業は受注待ち体質からの脱却が容易ではなく、当社も競業他社との価格競争下にあった。経営者の車のスリップによるヒヤリ体験から、路面掘削用特殊ビットを発明し、メーカーに試作依頼し、試行錯誤の結果、特殊環状溝等が施工できる「ケーズルビット」、「ケーズル工法」を確立し、ビット製造メーカーではないが特許取得を行うことになりました。

従来の道路反射鉢には乗り上げ時のタイヤ破損等問題があり、上記工法による掘削面に埋め込む光触媒入「ケーズルリング」も合わせて開発し、特許取得できることで、会社定款に製造業を追加するに至りました。

## 自社の強み

「ケーズル工法」のライセンス料をフリーにしたことにより、「ケーズルリング」も公共・民間を問わず、全国の工事現場で採用が拡大しています。同商品は市場性が期待されると判断し、量産化のための新工場用地を確保するほか、中小企業ものづくり補助金を活用した事業化を進めました。

都内に新販売会社豊田ロードセーフティー（株）を設立し、海外展開も視野に現在特許権3件、意匠権7件、商標権2件、韓国特許1件にもとづく知財・経営戦略を積極的に展開しています。

## 一押し商品

「ケーズルリング」は既設アスファルト・コンクリート路面の特殊二段環状溝に埋め込まれて車とタイヤとの接触摩耗が避けられない商品であることから、光触媒粒子をリング樹脂に練り込み、継続的にセルフクリーニング効果による汚濁防止機能を有しています。また、反射機能も兼ね備えており、道路反射鉢などの保安部品の代替商品として、夜間等での視認性機能を高めています。

材質が樹脂であることから従来の道路反射鉢の乗り上げ時の衝撃等の問題点を解決し、安全性に十分配慮した商品となっています。



ケーズルビットによる施工現場



ケーズルビット（ダイヤモンド製特殊ビット）



ケーズルリング

## 知財総合支援窓口活用のポイント

## 窓口活用のきっかけ

受注待ち体質からの脱却を目指し、ヒヤリ体験からスリップ防止用掘削工具を発明しましたが、従来技術の工具との相違点を見いだせず、半ば特許出願を諦めていました。しかし、特許流通アドバイザーの紹介で窓口担当者が同社を訪問し、特殊ビットの組合せによる発明発掘等を支援し、特許、意匠、商標の権利取得を目指して行くことになりました。

## 最初の相談概要

「ケーズルリング」量産化対応で材料供給に業界大手企業と成形条件等技術情報の打合が進行しているなか、経営者には発明の権利保護が十分ではない点を指摘しました。

知財戦略のサポートとして、①光触媒に関する技術情報等の提供と発明発掘、公設試への耐候性試験の紹介、②IPDLによる特許・意匠・商標の先行技術調査支援、③特許出願の発明の特定、特許事務所と連携による明細書作成支援、④特許庁施策・外国出願補助金の活用支援により国内・韓国の特許権等取得のほか、新たなPCT出願、意匠出願も行いました。

## その後の相談概要

経営戦略のサポートとして、支援機関のビジネスプラン発表会への参加を推薦し、発表企業として採択されたことから高速道路会社、金融機関等とのマッチング等を支援しました。

また、農地転用に必要な開発審査会申請に対して「先端技術」説明資料作成等を支援し、認可を得たことにより、新工場建設に向けて大きく前進しました。魅力ある商材といち早く感じて頂いた大手企業と共に都内に新販売会社を設立し、国内外の販路開拓を進めています。

## 窓口を活用して自社が変わったところ

試行錯誤の開発成果は知財総合支援窓口を活用して権利化でき、専門家を活用しての契約締結ではビットメーカーからのライセンス料収入、特許製品「ケーズルリング」などによる売上も寄与し、業界のリーディングカンパニーに飛躍しつつあります。現在、新工場を設立して地域雇用促進、保安用品販売店と契約支援による全国展開、INPITの海外知財プロデューサーの専門家派遣による代理店契約によって海外展開も計画しています。

## これから窓口を活用する企業へのメッセージ

窓口相談員の、適確で丁寧なアドバイスが企業にとって収益性向上に向けた中心的起爆剤となります。「困ったものを解決する→お客様のニーズに答える→ヒット商品に繋がる！」と考え、活路を見いだすチャンスともなり得ます。訪問による支援を受けることで救われる中小企業も出てきます。日本経済にも影響を及ぼしてくる支援だと感じています。

## 窓口担当者から一言（氏名：井上 勝）



中小企業の現場では世界に通用するアイディアが埋もれています。知的財産を取得することにより、企業の大小に関係なく交渉でき、相手企業に対しても優位な知財戦略、経営戦略を描け、ビジネスにも結びつけることができます。企業の身近な相談員として、大いに活用して頂きたいと思います。